

令和5年度 第1回 堺市 SDGs 未来都市推進本部会議 議事要旨

日時 令和5年11月27日(月) 11時20分～11時40分

場所 堺市役所本館4階 秘書課会議室

議題 堺市 SDGs 未来都市計画(2021～2023)に関する取組実績と計画改定素案について

<市長>

堺市 SDGs 未来都市計画(2021～2023)については、前計画から大幅に見直しを行い、実行性ある計画とするため、17のゴールと169のターゲットを全て確認し策定した。一昨年には、さかい SDGs 推進プラットフォームを立ち上げ、現会員数は1400近くになっており、公民連携の取組が増加している。

また、社会的にも SDGs という言葉がメディア等でも定着してきており、各企業・団体での積極的な SDGs への取組が更に進められていると認識している。

これから、ゴールとなる2030年度を強く意識し更に加速するために、それぞれの局、区でゴール達成に向けた取組を広げてもらいたい。

<市長公室長>

本市では、市政運営において特に重要な計画のひとつである堺市 SDGs 未来都市計画(2021～2023)と堺市基本計画2025を令和3年に策定した。計画開始から、各局・区においては、両計画のKPI達成を強く意識して業務に取り組んできたと考える。

会議では、堺市 SDGs 未来都市計画(2021～2023)の取組実績を報告し、次に堺市 SDGs 未来都市計画(2021～2025)改定素案についてご意見をもらいたい。

議題については、事務局より説明する。

政策企画部より資料説明

2018年のSDGs未来都市選定から従来3年毎の計画策定が内閣府より決められていたが、内閣府より自治体SDGsの推進に向けた強化策として、SDGs未来都市計画と総合計画や総合戦略との整合性を図る計画策定の手法が示された。本改定の目的でもある堺市基本計画2025と堺市SDGs未来都市計画の終期を合わせ改定についても了承を得ている。今後の計画改定においては、現行計画の大きな方針は引き継ぎ、堺市基本計画2025との期間やKPIの目標値を合わせることなどの整合性を図り、両計画が一体となって取り組むこととする。

本日の会議後、堺市 SDGs 未来都市計画(2021～2025)改定素案について議会報告を行い、内閣府へ提出の上、計画案は年明け2月のSDGs未来都市推進本部会議を経て確定する。

<市長公室長>

本件について、ご意見、ご質問等あれば、よろしく願います。

<佐小副市長>

資料 1 の取組実績の中、すでに KPI 指標の目標値を達成する指標があるが、堺市基本計画 2025 と共通の指標、又は共通でない SDGs 未来都市計画単独の指標によって取扱いが異なると感じたが、目標達成した KPI 指標の数値設定の考え方について、詳しく教えていただきたい。

<政策企画部>

SDGs 未来都市計画単独の KPI 指標については、2023 年度が終期となるため、2025 年度の新たな目標値設定が必要である。現在の各 KPI 指標の進捗等に合わせ、より高い目標を 2025 年度に向けて設定している。堺市基本計画 2025 と共通の KPI 指標については、本改定で堺市基本計画 2025 との終期を合わせ、より一体的に取り組むため、目標値は堺市基本計画 2025 の目標値を設定している。実際に事業を進める中での各 KPI 指標の目標値の取扱いについては、庁内での適切な進捗管理のもと、ゴール達成に向けて取り組んでいくものとする。

<市長公室長>

その他ご意見、ご質問ないようなので、本件の堺市 SDGs 未来都市計画（2021～2025）改定素案については、これより内閣府との調整を進め計画を確定していくこととする。